

# 週刊文春

11月10日号 定価400円



# 最新動画 いい手口



犯人グループが運営していた「盗撮見聞録」

まだ閉鎖されていないサイトも

「盗撮されたのは有名アイドルグループの一人やモデル、ローカルタレントなど五人。彼女たちが福岡のラジオ番組に出演した際に利用した、スタジオから最も近い多目的トイレで盗撮の被害にあったのです。動画は、昨年八月にネット上で流出し、盗撮された本人が特定できる広告がネットにアップされるなどしたため事件が発覚。被害者の一人が、県警に相談し、一年以上かけて捜査を続け、逮捕に至ったのです」(地元記者)

十月十九日、福岡県警などは盗撮動画や無修正動画をネット上で有料配信したとして、サイト運営会社の実質的経営者・森本憲被告(49)ら十七人を逮捕したと発表した。

同社は「盗撮見聞録」など会員制の有料サイトを複数運営。会員は月額三十ドルから四十ドル(約三千円から約四千元)を支払い、その売上げは二〇一四年からの二年半で約十億円に達していたという。

「沖縄県宜野湾市のマンシ

ョンの一室に事務所を置き、無修正動画などの編集作業を行っていました。動画は捜査が及びにくいようスウェーデンなど海外のサーバーを経由して配信。逮捕された者の多くは沖縄県在住で、過去に破産している者や、職を転々として、生活に困窮していた者も少なくなかった」(同前)

その中には、シングルマザーもいて、調べに対して「沖縄で月給二十万円を貰える仕事は少なく、(会社を)辞められなかった」と話しているという。

「主犯格の森本は、〇九年にも児童ポルノ禁止法違反などの容疑で逮捕されており、同様の手口で約二億四千万円を売り上げていました。犯人グループは沖縄のほか福岡、東京などを拠点にしている」とみられ、逮捕者は更に膨れ上がる可能性もある」(捜査関係者)

犯人グループが運営していた五つのサイトでは、少なくとも一万四千本の動画が配信されていたという。起訴状などによると、今回、アイドルら五人を撮影

した実行犯・山本雄一郎被告(34)は、その報酬として百万円を得ていた。

山本は、福岡市内で家賃約五万円のマンションに一人で暮らし、コールセンターのオペレーターとして働いていた。彼が、盗撮に手を染めたのは大学時代からだったという。

「もともと女性の下着姿を盗撮した動画に興味を持っていた山本は、大学三年生の頃から携帯電話の動画撮影機能を使って、女性のスカートの中の撮影を繰り返すようになっていたといえます」(前出・地元記者)

今回の現場となったトイレは一般人も利用可能なため、山本は人の動きを自動で感知して撮影を開始する動体検知機能付きのビデオカメラを密かに設置。へ同所で用便を足す女性の姿を動画撮影することを繰り返した(裁判資料より)のである。

全国盗撮犯罪防止ネットワーク代表の平松直哉氏は、そのおぞましい手口についてこう語る。

「カメラは複数台仕掛けら

れています。画角などを検証した結果、一台は手を洗うアルコールドレンクの下のあたり、もう一台は、トイレトーパーホルダー周辺に設置していた可能性がります。動体検知機能付きのカメラの他にも、Wi-Fi(無線LAN)機能がついたカメラなども使用していたかと思われます」

こうして撮影された動画が、森本らが運営するアダルトサイトに供給された。

「当初山本は、自己観賞目的で盗撮を行っていたのですが、後に動画買い取り業者の担当者と知り合いになると、継続的に盗撮動画を買い取らせて、月平均約二十万円の報酬を得ていました」(前出・地元記者)

問題のサイトでは、個人が盗撮したわいせつな動画の「高額買い取り」を呼びかける記述もある。

今回の逮捕者の多くは、わいせつ電磁的記録有償頒布目的保管容疑などで起訴されているが、山本被告ら二名は、リベンジポルノ防止法違反で逮捕・起訴された。

# アイドル盗

## 売上 10億円超! おぞま



アイドルら5人が盗撮された現場トイレ

盗撮問題に詳しいレイ法律事務所の河西邦剛弁護士が解説する。

「盗撮は主に、迷惑防止条例違反や、建造物侵入罪、児童ポルノ禁止法などで逮捕するケースが多く、今回のように商用目的の盗撮で、リベンジポルノ防止法を用いるのは珍しいケースといえます」

リベンジポルノ防止法とは、性行為や性交類似行為などに該当する写真や動画を、第三者が撮影対象者を特定できる方法で、不特定多数に流出させることを禁止する法律である。

「それらの行為盗撮用の器材も、進化

しておこなうと、最大で三年以下の懲役、五十万円以下の罰金が科されます」(同前)

前出の地元記者はこう語る。

「今回、リベンジポルノ防止法が適用された背景には、罰則が例えば迷惑防止条例違反などよりも重くなるという面もあるようです。警察がそれだけ事件の悪質性や社会的な影響などを考慮したともいえます」

ことに被害者が受けたダメージは、深刻である。「被害に遭ったアイドルグループのメンバーは動画流出が発覚した後は、声もかけられないほど凹んでいた。直接の因果関係はわかりませんが、森本らの逮捕を伝える報道がなされた直

している(写真は07年)

後に芸能界引退を発表してしまいました」(民放関係者)被害者は、このアイドルやモデルら五人にとどまらない。本人も知らぬ間に盗撮の被害者となっている女性が相当数いることは、言うまでもあるまい。

では、急増する盗撮被害から身を守るにはどうすればよいのか。前出の平松氏が警鐘を鳴らす。

「たとえば、多目的トイレには、電源や配線、赤ちゃんを寝かせる台、天井の火災報知器など、カメラを隠せる場所が多い。トイレ盗撮の場合、犯人が撮りたいものは三つ。顔、陰部の前、陰部の後ろです。被害を防ぐには犯人の視線を、

意識することも必要です」見晴らしのいい露天風呂はもちろん、脱衣所などでも注意が必要だという。

「女性の協力者がいるからです。脱衣所などで、お風呂セットを持ちながら歩いている人間にも要注意。対象者をつけ回す、追い撮りの可能性がある。人が多い時間帯を避けることも対策の一つです」(同前)

法務省の調べによれば、盗撮で有罪判決を受けた者の五年以内の再犯率は高く、三六・四%。

今回逮捕された一人は裁判で、「家族に迷惑をかけたしまった」とは述べたが、盗撮された被害女性への謝罪の言葉はなかった。

### 肝臓の疲れに!



### ネオバルミン錠

原沢製薬工業株式会社

http://www.harasawa.co.jp 180錠(15日分)

〒108-0074 東京都港区高輪3-19-17 360錠/1000錠

☎ 0120-860-071 第2類医薬品

(受付時間 9:30~17:00 土・日・祝日を除く)